

2007年度上期のハイライト

2007年10月23日

花王株式会社

社長執行役員

尾崎 元規



このプレゼンテーション資料はPDF形式で当社ホームページ『投資家情報』に掲載してあります。
URL: <http://www.kao.co.jp/corp/ir/i07/index.html>

このプレゼンテーション資料には、2007年10月23日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値予想と大幅に異なる可能性があります。

- 2007年度上期サマリー
- 成長戦略：進捗と今後
- 2007年度予想

2007年度上期サマリー

2007年度上期概況

- 国内コンシューマープロダクツ事業は引き続き好調。
- 期初想定を上回る原材料価格上昇の影響。

		前年同期比
売上高:	6,544億円	(+8.6%)
営業利益:	555億円	(▲4.9%)
経常利益:	550億円	(▲5.9%)
中間純利益:	293億円	(▲0.9%)
EBITDA:	1,009億円	(▲1.2%)
1株当たり 中間純利益:	53.77円	(▲0.9%)
1株当たり中間配当金:	27円	(+1円)

成長戦略：進捗と今後

商品の高付加価値化による“利益ある成長”の達成

- ビューティケアとヒューマンヘルスケア事業での成長の加速
- 基盤事業であるファブリック&ホームケア事業のさらなる強化・発展
- グローバルに特徴ある強いケミカル事業への注力

事業セグメントと主な製品カテゴリー

コンシューマープロダクツ事業

ビューティケア

2007年度上期売上高: 3,116億円
(前年同期比:+10.3%/売上構成:47.6%)

サロン向け製品
プレステージ化粧品
プレミアムスキンケア
プレミアムヘアケア



ヒューマンヘルスケア

2007年度上期売上高: 947億円
(前年同期比:+4.1%/売上構成:14.5%)

機能性食品・飲料
オーラルケア
血行促進(入浴剤・温熱シート等)
サニタリー製品



コンシューマープロダクツ事業

消費者起点

コンシューマープロダクツ事業

ファブリック&ホームケア

2007年度上期売上高: 1,377億円
(前年同期比:+2.5%/売上構成:21.1%)

衣料用洗剤、洗濯仕上剤
キッチン・バス・トイレ、リビングケア



ケミカル

2007年度上期売上高: 1,265億円
(前年同期比:+16.1%/売上構成:16.8%)

油脂
機能材料
スペシャルティケミカルズ



ケミカル事業

※売上高には事業間の内部売上を含む。売上構成比は外部顧客に対する売上高で算出。

ビューティケア事業

トータルビューティの提案

2007年度上期のトピックス

- 新ブランドのセグレタ追加でシャンプー・コンディショナー市場シェアNo.1(※1)の地位を強化。
- ビオレメイクとろけるリキッド、ビオレuなどがプレミアムスキンケアの好調に貢献。
- カネボウ化粧品は計画通り進捗。花王ソフィーナは国内中価格帯市場の低迷の影響で若干前年割れ。
- アジアのビオレは台湾、インドネシアを中心に好調。5月に台湾・香港でアジエンスの新タイプを追加発売。

2007年度下期のトピックス

- プレミアムヘアケアは競争激化が見込まれる市場の中で、アジエンスの改良新発売など、各ブランドの独自性を強化。
- プレミアムスキンケアは上半期に引続きビオレを中心に売上拡大。
- エストの強化とカネボウ化粧品のメガブランド化推進。



セグレタ



ビオレメイク
とろけるリキッド

ビオレu
シリーズ



改良アジエンス



エストメイクアップ



2007年度上期のトピックス

売上高<1~6月>: 1,100億円弱(+5%) / 営業利益率: 約5%

【参考】前年度連結対象売上高<2~6月>: 900億円強 / 営業利益率: 9%強

- 国内高級プレステージブランド「インプレス」「ルナソル」、セルフ販売のメイクアップブランド「ケイト」などが好調。
- 中国における出店は計画線上で推移。
- メディア購買など花王グループ内で様々なシナジーの発現に向けた取組みを推進。



インプレス

ケイト



DEWスペリア

2007年度下期のトピックス

<予想>

売上高<1~12月>: 2,200億円強(+3~4%) / 営業利益率: 約8%

- 国内ではメガブランド化を推進。10月にスキンケアのDEWスペリア、12月に新トータルメイクアップブランドのコフレドール発売。
- 中国では引続き先行投資を実施。
- 欧米ではスーパープレステージブランドSENSAIの中核スキンケアラインを全面刷新。



コフレドール



SENSAI Cellular Performance



ヒューマンヘルスケア事業

デイリーヘルスケア商品の開発・上市

2007年度上期のトピックス

- ヘルシアウォーターはマスカット味を加え製品ラインを充実し、ヘルシアブランドを強化。
- エコナは横ばいで推移。
- メリーズはブランド価値が認められ、引き続き売上拡大。
- ロリエはタイ・中国で好調に推移。
- パーソナルヘルスは好調な薬用ピュオーラが引き続き貢献。



ヘルシアウォーター
マスカット味



薬用ピュオーラ

2007年度下期のトピックス

- 「ヘルシア緑茶まろやか」の追加で、ヘルシアブランドトータルでのさらなる強化。
- 肌へのやさしさを追求し、メリーズおよびロリエのブランドロイヤリティをさらに高める。
- 製品ラインの充実で、好調なクリアクリーンおよびピュオーラ両ブランドを一層強化。
- 蒸気で気持ちよく温める「めぐリズム蒸気でホットアイマスク」上市。



ヘルシア緑茶まろやか



めぐリズム蒸気でホット
アイマスク



家事の楽しさ・快適さの提案

2007年度上期のトピックス

- 若い主婦層の生活スタイルに合わせた新ブランドのスタイルフィット上市。
- タイでアタックソフトプラスを上市し、品揃えを充実。
- 消費者の「衛生・安心・環境、及び香り等」の新しい意識の高まりに応えるリセッシュ除菌EX上市。



スタイルフィット



タイのアタックソフトプラス



リセッシュ除菌EX

2007年度下期のトピックス

- 国内外で洗濯への様々なニーズに応える品揃えで、衣料用洗剤をさらに強化。
- ホームケアのメガブランド化とブランドの鮮度アップを図る。
- TCRの強化などで原材料高に対応。

ケミカル事業

グローバルに特徴ある強いケミカル事業への注力

2007年度上期のトピックス

- フィリピンでの生産能力アップが寄与し、油脂アルコールの売上数量増加。
- 欧米では油脂アミンやトナー・トナーバインダーなどのタイムリーな設備投資が奏功し欧米で好調持続。
- 原料価格が大きく上昇した油脂アルコールなどは値上げを国内外で実施。



フィリピンの油脂アルコール製造設備

2007年度下期のトピックス

- 高付加価値製品であるスペシャルティケミカルズに注力。特に、急成長する業界とコラボレーションを進め、顧客のニーズに応じて売上拡大。
- 高機能化と低コストオペレーションで機能材料事業をさらに強化。
- 油脂事業では売上拡大、コスト削減および継続的な値上げ努力で原料価格上昇に対応。

アジアコンシューマープロダクツ事業※

売り上げの大幅な伸びと収益改善

2007年度上期のトピックス

- アジア一体運営により、タイ、インドネシア、中国などで順調に売り上げを拡大。
- 台湾・香港でアジエンス・モイスチュア・バランスを発売。積極的なマーケティング活動を展開しアジエンスブランドを強化。
- 中国でアタック柔軟剤入り上市。



香港の新アジエンス
シリーズの店頭展開



中国のアタック柔軟剤入り

2007年度下期のトピックス

- インドネシアでアタックの新製品発売。
- ロリエやビオレも高付加価値商品を継続的に積極投入。



ロリエセイフティフィット

※プレステージ化粧品を除く。



増加したフリーキャッシュフロー^{*}の用途

カネボウ化粧品が加わり、フリーキャッシュ・フローは増加し、年間1,000億円レベルに。

1. 将来の成長に向けての設備投資およびM&A

2. 連結配当性向40%程度を目処に安定的・継続的な配当

3. 借入金などの有利子負債の返済と自己株式の取得

※【フリーキャッシュ・フロー】=【営業活動によるキャッシュ・フロー】－【投資活動によるキャッシュ・フロー】



2007年度予想

中長期的な“利益ある成長”をめざして

2007年度戦略と損益への影響要因

1. 攻めの投資

- 高付加価値商品の育成による売上拡大に向けた国内コンシューマープロダクツ事業への積極的なマーケティング投資
- 中国をはじめとするプレステージ化粧品での先行投資 など

損益への影響

2. 国内原材料市況上昇の影響

約△140億円

3. コスト削減(TCR)

約+60億円

2007年度営業利益予想： 1,140億円

2008年度以降早期に過去最高営業利益1,213億円を超える

2007年度予想

原材料価格上昇の影響を増収効果やコスト削減で吸収し、
期初予想利益の達成、および、さらなる利益増を目指す。

		前年比
売上高:	13,100億円	(+6.3%)
営業利益:	1,140億円	(▲5.7%)
経常利益:	1,110億円	(▲7.6%)
当期純利益:	660億円	(▲6.4%)
EBITDA:	2,060億円	(▲3.3%)
ROE [※] :	11.4%	(▲1.7ポイント)
1株当たり 当期純利益 [※] :	121.43円	(▲6.2%)
1株当たり配当金:	54円	(+2円)
配当性向:	44.5%	

(※) ROEおよび1株当たり当期純利益予想の計算には、2007年10月24日から12月19日の期間の460万株
または150億円を上限とした自己株式の取得を考慮に入れてあります。

